

突出し金物へのケーブル類固定方法の統一

* 提案者：西部電気工業株式会社
NTT事業本部 技術研修センター
岩崎 拓哉
gikai@seibu-denki.co.jp
☎092-418-3197

- 1 カ所当たり124円の材料費削減
- 1 カ所当たり20秒施工時間短縮
- (3) 施工性の向上

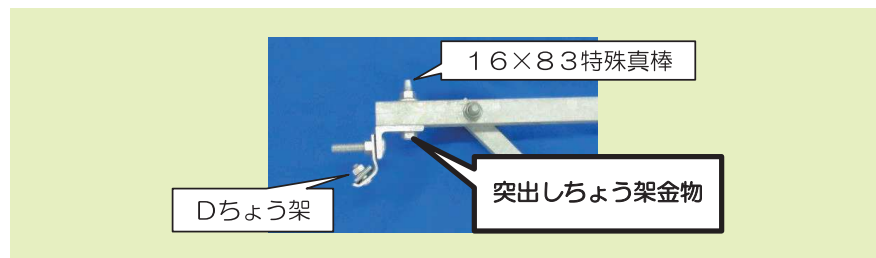
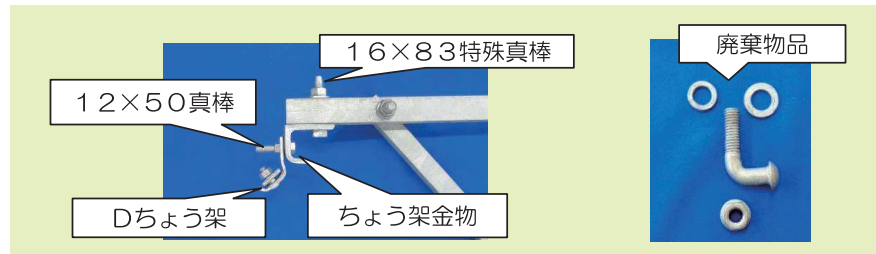
突出しちょう架金物の穴にボルトが嵌合するため、ボルト締め付け時、空転することがなく、施工性向上。

【概要】

架空ケーブル類を突出し金物に添架する際、添架する種別によって、ちょう架金物と突出しちょう架金物を区別して使用します。2.6mmおよび2.3mmの単鋼線は、ちょう架金物使用ですが、付属のボルト等は廃棄しています。単鋼線を突出しに添架する際は、突出しちょう架金物を使用することで、工法のスリム化や材料費の削減、廃棄物の削減が可能です。

【効果】

- (1) 工法のスリム化
ケーブル添架とつり線添架で区別することで、工法のスリム化を図ります。
- (2) 材料費・施工時間の短縮



8 SM-IF-DZ引留工法の追加

* 提案者：西部電気工業株式会社
NTT事業本部 技術研修センター
吉田 しの
gikai@seibu-denki.co.jp
☎092-418-3197

【概要】

8 SM-IF-DZの一束化架渉区間における引留工法は、2Bバンド（または真棒）・L形金物・屋外線引留具を使用します。

8 SM-IF-DZの引留工法はバンド類の材料費がかかっています。またバンド類の取付けに時間を要しています。

そこで、8 SM-IF-DZの引留工法にアースクランプを使用した引留工法を追加しました。

【効果】

- (1) 材料費の削減
1カ所399円のコスト削減が可能となります。
- (2) 作業時間の比較
提案工法と現行工法で取付作業を実施した結果、146秒の作業時間短縮が図れます。

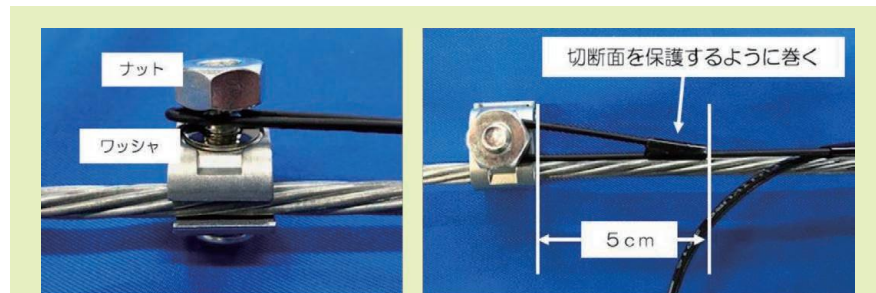
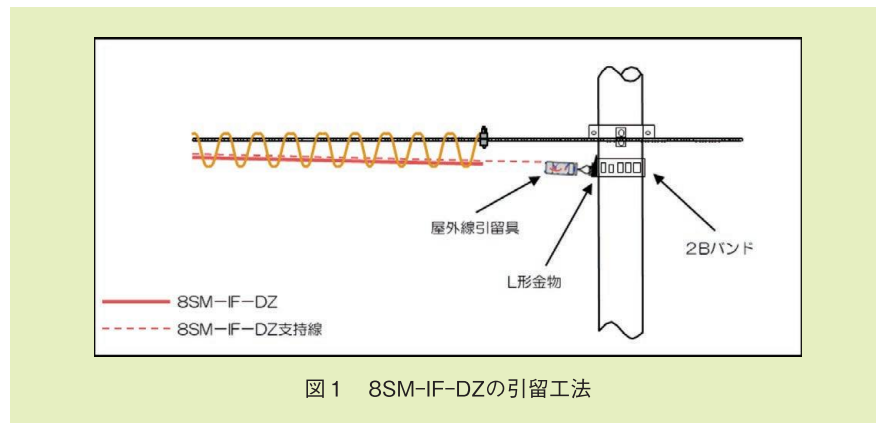


図2 アースクランプへの固定

図3 提案工法

TN中継用クロージャ「LA」のIFAケーブル固定方法変更

*提案者：西部電気工業株

NTT事業本部 技術研修センタ
吉田 しの
gikai@seibu-denki.co.jp
☎092-418-3197

【概要】

TN中継光用クロージャ「LA」にケーブルを固定する際は、IFAケーブルの場合は、FRP素材のTMに瞬間接着剤を塗布し、5号FSCテンションメンバスペーサを取り付けてTM把持具に固定します。

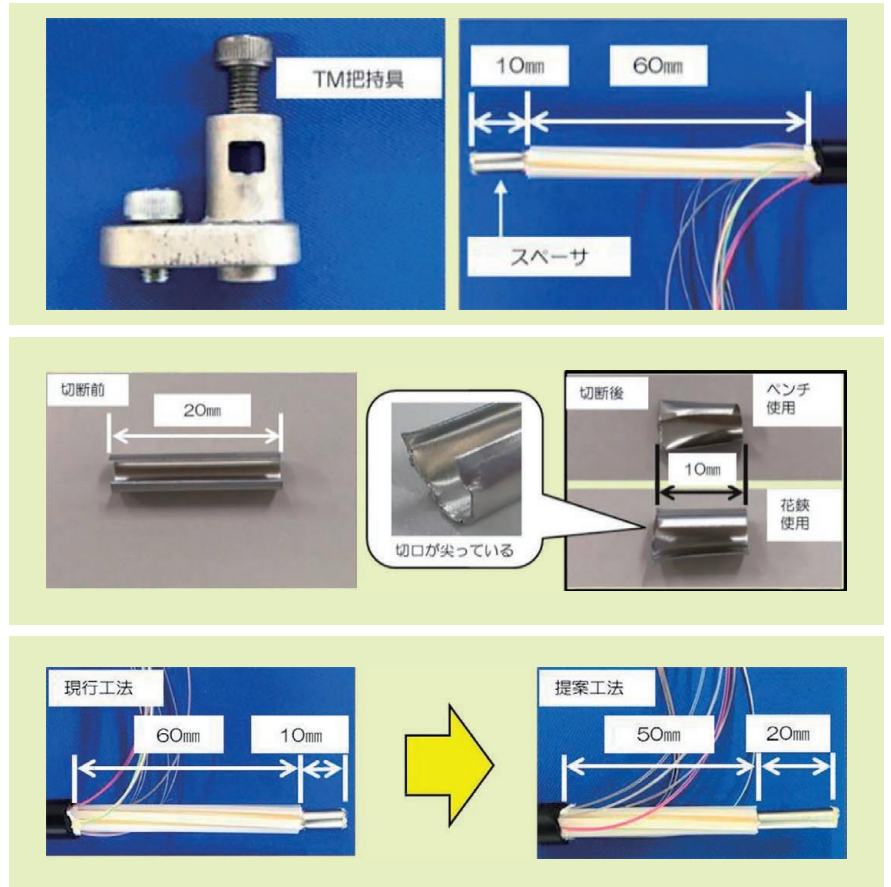
スペーサは20mmで製造されていますが、10mmに切断して使用する必要があります。

しかし、ペンチで切断すると切口が潰れてしまい、TMに取り付けにくいので、スペーサを広げるなど形を整える必要があります。

そこで、スロットロッド長を50mm、TM剥ぎ取り長を20mmに変更し、スペーサを切断せずに使用します。

【効果】

- (1) 施工性の向上
スペーサを切断および切口を整える工程がなくなります。
- (2) 作業時間の削減
スペーサの切断工程が減ることにより15秒の削減。



集塵カップ使用によるドリリング作業時の粉塵等飛散防止

*提案者：西部電気工業株

モバイルネットワーク事業部
ドコモビジネス部
塚本 道隆
m-tsukamoto@seibu-denki.co.jp
☎092-418-3170

【概要】

ドリリング作業時に粉塵、破片が作業箇所周辺へ飛散してしまいます。

飛散防止対策として補助者に掃除機で吸引しながら作業を行っても周囲に粉塵、破片が飛散してしまうため、ドリリング作業後に周辺の清掃を行っています。

周囲への飛散防止対策として、ドリリング箇所を覆う、飛散防止対策用カップを作成しました。

【効果】

- ①ドリリングから穿孔内粉塵清掃まで一連

の作業をカップを取り付けた状態で作業できるため、粉塵・破片をかぎりなく飛散させず作業が完了できます。

- ②ツバ部分をテープで固定できるため、本製品を固定する作業員は不要となり、稼働削減に貢献できます。
- ③ツバ部分は着脱可能。
- ④繰り返し使用可能。



図1 製品（ドリル用粉塵カップ）



図2 使用状況（掃除機）

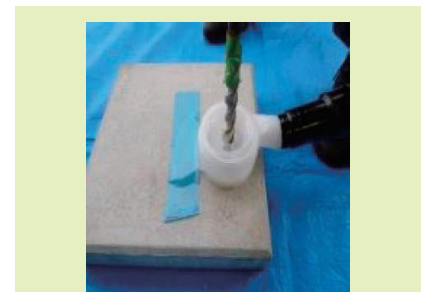


図3 使用状況（集塵カップ）